

AOU ニュース

明るく 楽しい アミューズメントの創造

エー・オー・ユー
A O U ニュース 3月号
発行人 社団法人全日本アミューズメント
施設営業者協会連合会
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-4-1
TSI須田町ビル6F
TEL. 03(3253)5671~2 FAX. 03(3253)5688
<http://www.aou.or.jp/>

編集人 A O U 広報委員会
発行日 平成13年 3月15日



ボクの名前は
「ゲームミイ」!



「AOU2001アミューズメント・エキスポ」が2月23日(金)、24日(土)の2日間、千葉コンベンションセンター(会場メッセ)の2・3ホールで開催された。今回はAOU創立10周年記念のエキスポとして、マスコミ特設コーナー「ゲームミイ」とそのネーミングを正式に発表。AOUブースをはじめ、会場内外の随所にキャラクターがお目見えしてエキスポに華を添えた。この「ゲームミイ」のネーミングの抽選会は開会宣言式のなかで行われており(左下写真)、JTB旅行券20万円分の当選者に、市川市の山西さんが決まった。

出展社数54社、AOUブースで、計733小間。磁気カードによるゲルムネット蓄積、インターネット利用のゲーム開発など、ネットワーク社会対応の急速な技術の進化を今回もさらに印象付けた。

なお、エキスポの模様は「ズームイン朝」(日本テレビ系)、首都圏ネットワーク(NHK)、「ワールドビジネスサテライト」(テレビ東京系)などのテレビ番組をはじめ各媒体で取り上げられ、アミューズメント業界に対する関心の高さをうかがわせていた。

(単位:人)

	受付入場者数
2月23日	10,107 (11,226)
2月24日	7,758 (7,802)
合計	17,865 (19,028)

※前年から導入した一般入場者の割引引換券(24日のみ)の利用者は大人1,262、小中高191の計1,453人で、昨年の1,424人を若干上回った。一般入場者全体の約28%が利用したことになる。(カッコ内は前年実績を表す)

お陰様で、このエキスポは今回が20回目となります。また今年はAOU創立10周年日でもありますので、その記念事業の一環としてAOUマスコミ特設コーナーをつくりました。そのネーミングが「ゲームミイ」と決定したことをこの場で皆さんに発表させていただきます。みなさんAOUマスコミ特設コーナーへ入江会長挨拶

開会宣言式

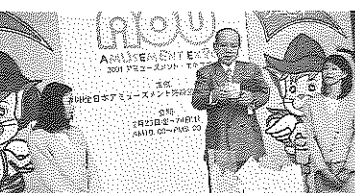
マスコミ特設コーナー・ネーミング抽選も実施



▲AOU入江会長が挨拶



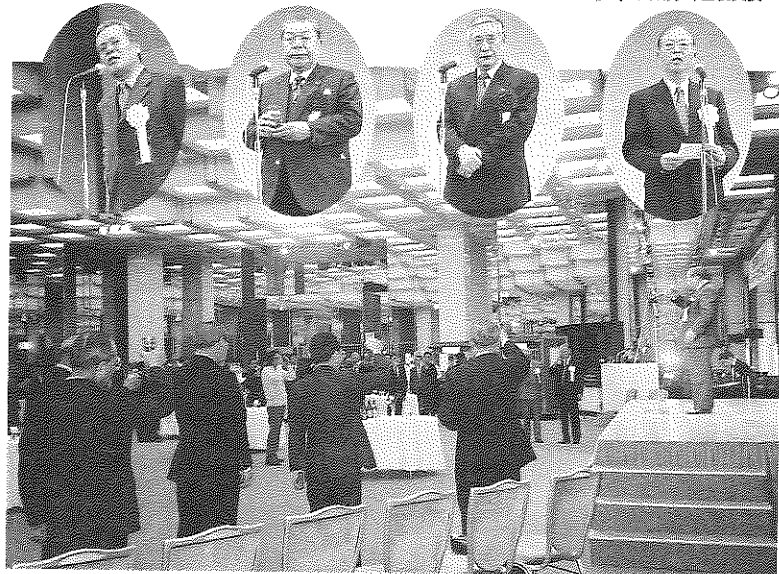
▲永井明エキスポ実行委員長の開会宣言。左右に仕掛けられていたテープが華やかに噴き上がった。



▲「ゲームの日」アンケートのWチャンスとして行ったネーミング募集の結果、マスコミ特設コーナーの名前は、総投票数14,740のうち最も多い4,380票を獲得した「ゲームミイ」に決定。入江会長が挨拶の後、「ゲームミイ」に投票した8万4千の中から1枚を選び、当選者が決まった。当選したのは千葉県市川市の山西英二朗さん(31歳)。なお、3月1日に賞品としてJTB旅行券20万円分が発送されている。

最後にありますが、ご来場の皆様には出展各社のそれぞれのハイテク機種の成果を充分にご覧いただき、これからの商売に役立たせていただければ幸いです。『企業は人にあり』と申しますが、アミューズメント業界は、人だけではどうにもならないところがあります。ゲーム機の良し悪しが第一条件です。その第一条件を決めるのがこのエキスポであると思います。どうか皆さんゆっくりと出展機種の見極めと選定をし、業績向上に、さらには業界発展にご協力いただきますことを願って開会のご挨拶と致します。

中締め エキスポ実行委員会 永井 明 委員長
 乾杯挨拶 JAPEA 山田三郎 会長
 来賓挨拶 JAMMA 柿原彬人 会長
 主催者挨拶 エキスポパーティー運営委員会 真鍋勝紀 委員長



AOU創立10周年記念 2001 エキスポパーティー

AOUエキスポ初日の23日午後6時30分、東京港区の赤坂プリンスホテル「クリスタルパレス」において懇親パーティーが開催された。主催はエキスポパーティー運営委員会(真鍋勝紀委員長)。372名が参加した。

「AOU創立10周年記念」と銘打たれた今回のパーティーは、AOUの育成にご協力いただいた業界三団体(JAMMA、JAPEA、NSA)と(社)青少年育成国民会議に対し感謝状を贈呈、また、AOU特別功労者として中西、梅原両元会長への表彰が行われ、例年にも増して盛大なムードで進んだ。

この他、恒例の行事として、AOU会員が選出した「平成12年度年間優秀機械」に対し各メーカーの担当者へ入江会長が記念の桶を手渡した他、三団体「ゲームの日」委員会からも「ゲームの日」を独自のイベントで盛り上げた団体に感謝状が贈呈された。

感謝状贈呈団体 特別功労者



梅原靖三 AOU元会長
 中西昭雄 AOU元会長
 (社) 青少年育成国民会議 (上村文三 副会長)
 日本NSC遊園協会 (NSA・内田博会長)
 全日本遊園施設協会 (JAPEA・山田三郎 会長)
 (社) 日本アミューズメントマシン工業協会 (JAMMA・柿原彬人 会長)

平成12年度 年間優秀機械表彰

〈アーケードゲーム部門〉
 ミスタードリー (株ナムコ)
 ダービーオーナーズクラブ (株セガ)
 バトルギア2 (株タイトー)
 カブコンVS. SNK MILLENNIUM FIGHT 2000 (株カブコン)
 G1リーディングサイアー (コナミ(株))
 パチスロ王国DX ハナビ (エイブルコーポレーション(株) / (株セタ))
 ビンゴキッズ (富士電子工業(株))
 ファンシーリフターズ (株カトウ製作所)
 フラッシュショット (オムロン(株))
 アンパンマンのかくれんぼ大作戦 (株バンプレスト / (株トーゴ))

〈乗物部門〉
 ハローキティえんそうかい (株ホープ / (株エイコー))
 ちびっこ交通 (株ホープ)

第6回「ゲームの日」イベント感謝状贈呈

北海道アミューズメント施設営業者協会
 茨城県アミューズメント施設営業者協会
 栃木県アミューズメント施設営業者協会
 東京都アミューズメント施設営業者協会
 神奈川県アミューズメント施設営業者協会
 山梨県アミューズメント施設営業者協会
 静岡県アミューズメント協会

近畿地区協議会
 広島県アミューズメント施設営業者協会
 山口県アミューズメント施設営業者協会
 福岡県アミューズメント施設営業者協会
 長崎県アミューズメント施設営業者協会
 大分県アミューズメント施設営業者協会



海浜幕張駅から「ゲーミイ」がお出迎え

会場の最寄り駅である「海浜幕張」駅の出口にはAOUエキスポの幕が掲げられ「ゲーミイ」の顔がお出迎え。また、「ゲーミイ」の全身イラストを描いた3種のAOUのほりが制作され、幕張メッセの入口から会場まで来場者を誘導するように50本が立てられた。



第37回 研修委員会

日時/2月6日(火)
14時~16時

場所/AOU事務局会議室
出席/7名+事務局2名

〈主な審議内容〉

◎店舗管理者研修会について

(1)本年度の開催予定を次の通り確認した。

2月15~16日

関東地区協議会(栃木県鹿沼)

3月6~7日

中国地区協議会(広島)

3月14~15日

九州・沖縄地区協議会(福岡)

3月22日

東海地区協議会(横浜)

3月22~23日

中部・北陸地区協議会

近畿地区協議会共催

(三重県鳥羽)

(2)中部・北陸地区と近畿地区が合同で開催することについて

は、地区協議会単位での開催が原則であるが、今回は特別に例外として承認することとした。

(3)来年度1年間で、研修会のあり方についての抜本的な検討を行うこととした。

(4)来年度については、本年度と同様の事業を同規模で実施することを決めた。

◎AOUセミナーについて

中部・北陸地区協議会から打診のあった経営者向けのセミナーについては、地区協議会が各地区協議会の予算で実施することには異論はないが、全国的なレベルでの予算化はしないこととした。

◎青少年指導員養成講座について

(社) 青少年育成国民会議に会場の手配を依頼していたが、希望した期間内では10月15日(月)と16日(火)を確保できたとの連絡があったことが報告され、検討した結果、同日に開催することを決めた。

◎その他

5月の通常総会終了後、早い時期に地区協議会長会議を開催し、研修活動の周知徹底を図ることを確認した。

財政研究会

日時/2月15日(木)

15時~17時

場所/AOU事務局

出席/6名+事務局3名

AOUの財務基盤について自由討議方式で協議。展示会収入に多くを依存している現在の体質を抜本的に改め、本来の姿である会費収入を基礎に置いたものにする方向で政策委員会、運営委員会に諮り、具体的な手順等を検討することを申し合わせた。

会長 [第22回] インタビュー

ゲームは人間に必要なアソビ。 妻と二人三脚、 孫や曾孫と接する気持ちで毎日営業

—AOUEキスボ、全国大会で夫婦二人いつも一緒にの姿が印象的ですが。

島田 「S東美」という長崎市のスーパースタールのなかに当社のゲームセンターがあるのですが、妻(シムさん)と私、ふたり毎日出勤しています。自宅から歩いて20分位の距離ですから、健康のために歩いてね。私は85歳、妻は81歳。この歳までできる仕事は他にありません。ゲームセンターの仕事は手も使わず頭も使わず。この仕事をしているお陰で長生きできるのだと思っています。夫婦ふたり、歳をとっても現役がモットーです。

—ゲームを始めたきっかけは？

島田 大正5年に、諫早の百姓の家に生まれました。不景気が続いた時代、18歳で海軍に志願。120人に3人という難関で合格して海軍の砲術学校に合格しました。その後の支那事変で駆逐艦に乗った時期もあります。日本に戻った後は終戦まで予科練の教員。そんなうちに職業軍人として生きてきたものの、敗戦によりいわば日本帝国の倒産という事態になってしまったわけですね。学歴もなし、そこで、趣味を生活かしてまず写真館をはじめました。ところが、儲からない。二女一男を含め5人家族が生活していくために、妻が保険の外交をして家計を助けてくれたんですよ。それからレンタカーや建売りの仕事、鉄骨を売ったりと様々な仕事をを経て、昭和40年、仲間7人と(株)東亜観光を設立。サーキット(スキッドレーシング)施設を開設しました。けれど、売上げが思った

ように伸びてくれない。逆に、サーキット脇にリース形式で営業していたジュークボックスやフリックバー等がかなりの売上をあげているんです。「これはいけるかも」と感じた矢先、ちょうどその年に近所でスーパースタールがオープンするといふ話を聞き、早速スーパースタールというゲームと乗物の50坪程のコーナーをつくった。これがはじまりです。ちなみに、この時、サーキットの借金をすべて引き継ぎ東亜観光を他の株主から買い取りました。

—S東美の口は今年で満36歳ということになりますね。

島田 ええ。スペースを拡大し、現在は乗物、テレビゲーム、クレイン等計60数台を設置しています。私と妻以外のスタッフは、オープン以来からの社員が1名、アルバイト2名です。女性、機械のメンテナンスは海軍で電気関係の学んでいますから私が担当しています。これまではホテル等へのゲーム機リースをはじめ遠くは福岡まで進出したこともありますが、今では最初の店舗だけをしっかりと守るという方針。それに、儲ける以上に大切なことがあるんです。

—大切なことは？

島田 自分の仕事に誇りを持つということ。インベーターゲームの時、業界は確かに急成長したけれど、その反面「子供には行かせたくない場所」というイメージをつくってしまった。そして、今もってそれを払拭しきれない。しかし、だからといって社会に貢献して営業するようないふろなどではダメです。我々は人間に必要な

要な「アソビ」を提供しているのですから。たとえば車の運転。ハンドルにアソビがなければうまく走らないでしょ。人間も同様に、勉強もアソビもバランスよくとることが大事。つまり、我々はこの世の中の役に立っているんだと、そういう自信を持つべきなんです。ね。実は過日、九州・沖縄地区協議会の店舗管理者研修会にお招きした福岡県警の担当係長から「ゲームは子供の夢を育てる」との言葉をいただきました。ね、私は、我々の業界をご理解いただいたのだと非常にうれしく思いました。そういう意味では、AOUの会員として目に見えないメリットは大きいと思っています。

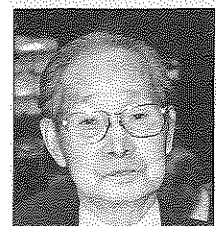
—店舗運営で特に気をつけていることは？

島田 しついです。お客様は8、9割が子供さん。そのひたひたりに孫や曾孫と接する気持ちで営業してきました。機械を壊したり蹴ったりなんてことがあれば敵になるのが面倒だと言ったカウスターに、甘やかさない。手が届けば両替機が使えるから使い方を教えます。小さなお子さんにはそれよりも強いの一つです。子供さんにはそれよりも遊びやすいように、と同時と考えています。もともとマニアは来ないし、設定をやさしくしてできるだけ長く遊べるように。また、プレイ料金もインベーターの頃から50円に抑えています。大切なあそびを使っているわけですから、たまたまの遊びで済ませようというのではありませんか？

島田 いわゆる悪い子はひとりも来ませんし、特にはいないですね。高校生の立入時間は8時までと条例で定められていますが、S東美本体の営業時間も夜8時です。もともと、当店は子供対象にそんな時間まで営業する必要はないという考えで、7時に一足先に閉めています。ただ、電気を消してカーテンでスーパースタール本体と仕切っているだけなので、防犯対策が甘かった昔、2度泥棒に入られました(笑)。

—反対に、うれしかったことは？

島田 中学を卒業したのでしょ。う、毎朝、毎日来る内気そうなお客の子がいるんです。色々な事情があると思うのですが、プレイマシンを考えると私がつくった質問するわけにもいかない。問題を起こすわけでもない、来るなと言えは他の遊び場に行くだけです。それにしても毎日とてたまたま1日50円としてもお客さんが大変だろうなと心配になります。顔をみるたびにこそさりげなく「プレイさせているんです。でも、いつも無表情のままで、うれいのかどうかかわからない。そういうのを何十回続けたらどうか、先日、初めて言ってくれたんですよ。『ありがと』って。うれしかったです。その後、お母さんもういっしょで「いつも息子がお世話になりました」と挨拶されました。その時、このゲームセンターのことを家庭で話してんだなあ、としみじみ思いました。人間はお金を持って死ぬわけではなくて、喜んでいただくために、喜んでいただくことを一人でも多く伝えたいですね。



長崎県アミューズメント施設営業者協会
島田 武会長(85)
東亜観光代表取締役

平成12年度「ゲームセンター」についてのアンケート」集計結果

「ゲームの日」にあわせて実施した利用者調査の集計結果がまとまった。

この調査は平成2年から行っているもので（ただし開始当初はアンケートハガキをゲーム雑誌に綴じ込むなど調査方法が異なる）、時代の流れに応じて毎回少しずつ設問を変えている。

以下、集計結果のダイジェストを掲載する。なお、詳しい調査結果については平成7年より毎年小冊子にまとめており、今回も例年通り、会員に配布する予定となっている。

各地区協議会合計				
	配布枚数	回収枚数		合計
		男性	女性	
北海道	7,200	637	598	1,235
東北	37,200	349	542	891
関東	56,400	776	695	1,471
東京	105,200	353	288	641
東海	34,000	882	570	1,452
中部北陸	75,200	731	437	1,168
近畿	70,000	1,416	571	1,987
中国	43,200	1,513	1,443	2,956
四国	20,000	328	172	500
九州沖縄	45,600	1,183	1,101	2,284
AOU 他	6,000	-	-	-
合計	500,000	8,168	6,417	14,585

□学校・職業別

	男性	女性	合計	構成率
小学校	664	512	1,176	8.1%
中学校	746	443	1,189	8.2%
高校	807	547	1,354	9.3%
大学	693	361	1,054	7.2%
その他学校	421	172	593	4.1%
アルバイト	833	488	1,321	9.1%
サラリーマン	2,704	-	2,704	18.5%
OL	-	975	975	6.7%
自営業	499	138	637	4.4%
主婦	-	2,208	2,208	15.1%
その他	718	556	1,271	8.7%
無回答	83	17	100	0.6%
合計	8,168	6,417	14,585	100.0%
男女比率	56.0%	44.0%	100.0%	

□男女構成比の推移

	男性	女性
平成12年12月 (14,585)	56.0%	44.0%
平成11年11月 (15,685)	53.2%	46.8%
平成10年11月 (15,239)	55.8%	44.2%
平成9年11月 (14,409)	52.7%	47.3%
平成8年11月 (13,312)	61.6%	38.2%
平成7年11月 (21,834)	66.1%	33.9%
平成6年12月 (15,544)	71.4%	28.6%
平成5年12月 (10,474)	73.9%	26.1%

() 内は回答数

「回答者から見る利用者層」

年齢構成を見ると、前回ほぼ半数（49・6％）を占めた20歳までの層が今回38・3％にとどまった。これは過去のデータと比較しても最も低い数字で、21～30歳の占める割合（37・4％）と大差ない。ちなみに、学校・職業別構成比では、表の通り、小学校、中学校、高校あわせて全体の25・6％（前回は35・

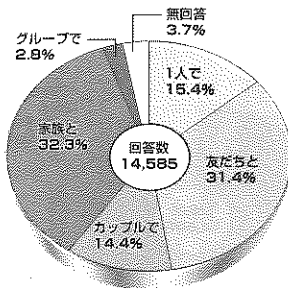
4％）と、サラリーマン＋OLの25・2％（前回は21・6％）が肉迫する格好になった。一方、今回の回答者で伸びが目立ったのは、主婦層。過去5年間の推移を見てみると、平成7年→9・8％、8年→10・1％、9年→12・2％、10年→11・3％、11年→12・7％、そして今回15・

1％と増加傾向にある。この主婦層については、アンケートハガキを見ると「子供と一緒に利用します」といった声が多く、ゲームで育った世代が家庭を持ち子供を連れてゲームセンターを訪れる、というパターンが読みとれる。

いずれにしても、今回減少したとはいえ青少年層（120歳）が4割近くを占めるゲームセンターは、健全育成のための諸努力が必要であることは言うまでもないが、同時に増加する主婦層に対応する店舗づくり（アンケートの意見欄によると「休憩スペースの設置」「空調、音響など店内環境への配慮」「使いやすイトイレ」等）が重要なポイントであることを認識させられる結果となった。

「調査結果」 平成12年11月1日～平成12年12月15日
アンケート方法 平成12年11月「アンケート用紙」50万枚を各都道府県協議会を通じて会員店舗に配布し、郵送回収した。
回収枚数 1万4,740枚（回収率29.5％）
うち有効枚数1万4,385枚（有効率98.94％）
うち無効枚数355枚（無効率1.06％）

Q.1-2 主に誰と行きますか。



ゲームセンターは家庭用ゲームとは異なるコミュニケーションの場であることは言うまでもないが、それを裏付けるように「主に一人で行く」との回答は少ない。注目すべきは、「家族で」という回答が最も多いこと。ちなみに、「友達と」という回答を上回ったのは今回の調査が初めて。「家族で」が占める割合は、平成7年→23.1%、8年→22.4%、9年→28.6%、10年→28.3%、11年→28.1%、そして12年→32.3%と徐々に増加傾向を見せている。

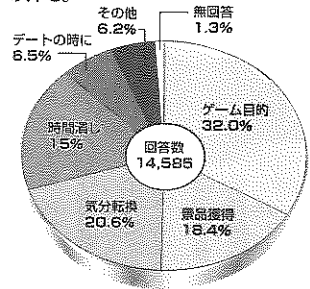
Q.1-1 ゲームセンターに行く目的は

「ゲームを目的に」「景品を獲得に」という積極的なゲームプレイを目的とした回答は計40.4%と、前回の53.6%から比べて減少した。一方、「気分転換に」「時間つぶしに」「デートのときに」という回答をあわせると42.1%（前回は40.3%）となり、「ゲーム目的」+「景品獲得」の回答を逆転した。

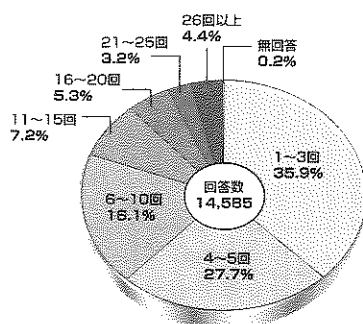
ただし、小中学生、高校生は「ゲーム目的」という回答がダントツに多いなど、学校・職業別では割合はかなり違ってくる。

以下、学校・職業別の「ゲームセンターに行く目的」ベスト3。

- 小・中学校・・・①「ゲーム目的」(51.9%) ②「景品獲得」(14.9%) ③「時間つぶし」(12.9%)
- 高校・・・・・・①「ゲーム目的」(43.7%) ②「気分転換」(18.8%) ③「時間つぶし」(17.7%)
- 大学・・・・・・①「ゲーム目的」(31.9%) ②「時間つぶし」(20.7%) ③「気分転換」(16.8%)
- その他学校・・・①「景品獲得」(31.4%) ②「気分転換」(25.1%) ③「ゲーム目的」(15.9%)
- アルバイト・・・①「ゲーム目的」(35.5%) ②「時間つぶし」(17.1%) ③「デートの時」(13.3%)
- サラリーマン・・・①「ゲーム目的」(31.3%) ②「気分転換」(21.3%) ③「景品獲得」(17.5%)
- OL・・・・・・①「気分転換」(28.4%) ②「デートの時」(18.3%) ③「ゲーム目的」(17.6%)
- 自営業・・・・・・①「景品獲得」(23.5%) ②「ゲーム目的」(22.8%) ③「気分転換」(22.3%)
- 主婦・・・・・・①「景品獲得」(34.9%) ②「気分転換」(30.7%) ③「ゲーム目的」(16.7%)



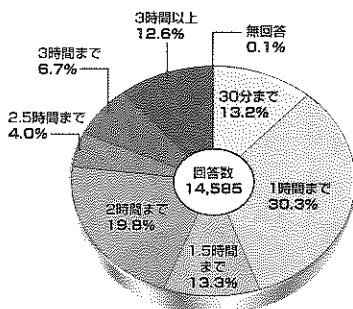
Q.2 1ヶ月にゲームセンターに行く回数の平均



全体を通しては例年通り「1～3回」という回答が最も多い。もっとも学校・職業別にみるとこの回答は、小学校→51.8%、中学校→31.7%、高校→26.5%、大学→21.0%と徐々に下がっており、年齢層があがるに従ってゲームセンターに行く回数も増えることがわかる。大学では「4～5回」の回答が最も多く26.1%、その他学校も同様に37.3%（1～3回は36.1%）、自営業も「1～3回」の回答25.1%に対し「4～5回」が28.6%と上回っている。なお、「26回以上」との回答イコールほぼ毎日行くことになるわけが、これについては、アルバイトでは10.1%と、ほぼ1割を占める結果になった。こうしたヘビーユーザーは、学校・職業別に見ると次のような割合になっている。

- 中学校→6.6%
- 高校→6.9%
- その他学校→8.8%
- OL→0.6%
- 主婦→1.9%
- 大学→4.3%
- サラリーマン→2.9%
- 自営業→2.2%

Q.3 1回の店舗滞留時間

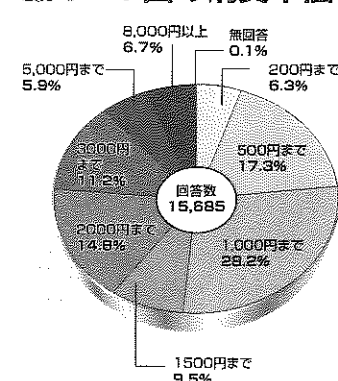


学校・職業別に最も多い回答をあげると次のようになる。

- 中学校→「1.5時間～2時間」(24.0%)
- 高校→「30分～1時間」(23.2%)
- 大学→「30分～1時間」(30.2%)
- その他学校→「30分～1時間」(27.2%)
- アルバイト→「1.5時間～2時間」(30.2%)
- サラリーマン→「30分～1時間」(34.3%)
- OL→「30分～1時間」(32.4%)
- 自営業→「30分～1時間」(32.8%)
- 主婦→「30分～1時間」(36.2%)

また、小学校では58.1%と過半数が「1時間以内」と回答しているが、逆に「3時間以上」という回答もアルバイトで22.2%、その他学校で21.2%、中学生18.9%、大学18.0%、サラリーマン11.6%、自営業10.4%、高校10.0%と、それぞれ1割～2割強を占め、決して少なくない数字。時間消費型ビジネスとして快適空間づくりが不可欠であるということを再認識させられる。

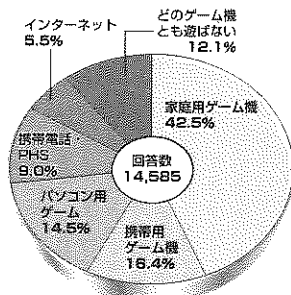
Q.4 1回の消費単価



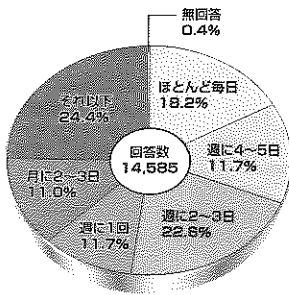
「200円まで」「500円まで」「1,000円まで」の回答を合わせると51.8%となり、過半数がゲームセンターにおいて1,000円以下で遊んでいることがわかる。これを小学校、中学校、高校（つまり青少年）に限ってみると、「200円まで」→10.8%、「500円まで」→29.4%、「1,000円まで」→33.8%で、1,000円以下で遊んでいる割合は74%にアップする。さらに小学校だけだと1,000円以下が81.6%を占めることになる。

逆に、1回に2,000円以上遊ぶという回答を学校・職業別に多い順に並べると、自営業（49.0%、3,000円以上になると29.5%）、OL（33.0%、同19.5%）、主婦（32.5%、同20.0%）、サラリーマン（29.3%、同14.3%）、アルバイト（25.6%、同11.7%）、その他大学（19.2%、同13.8%）、大学（17.8%、同6.2%）となっている。

Q.5 最近3ヶ月間に遊んだゲーム機

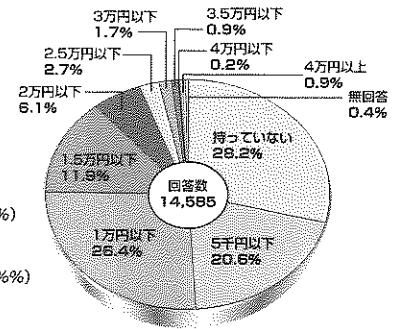


Q.6 家庭用ゲームを週に何日プレイする？



学校・職業別に見ると、小学校、中学校、高校では「ほとんど毎日」が最も多く、小学校→44.2%、中学校→28.8%、高校→23.4%を占めている。一方、OL、自営業、主婦は「それ以下」が最も多く、OL→42.3%、自営業→40.7%、主婦→39.0%と4割前後の割合となった。

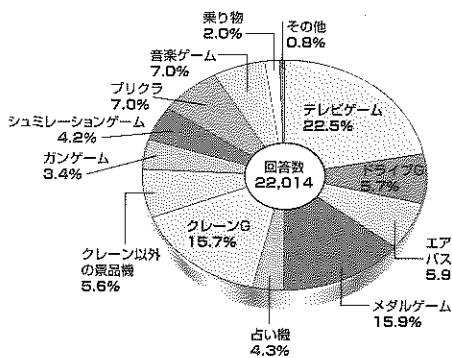
Q.7 携帯電話・PHS・ポケベルの1ヶ月の使用料



学校・職業別に、所有率および所有者の使用料を見る。と次のようになる。

- 小学校・・・14.3% 「5000円以下」(53.0%)
「5000～1万円」(10.1%)
「1万～1.5万円」(6.5%)
- 中学校・・・32.6% 「5000円以下」(47.2%)
「5000～1万円」(19.3%)
「1万～1.5万円」(11.9%)
- 高校・・・72.0% 「5000～1万円」(36.6%)
「1万～1.5万円」(21.1%)
「5000円以下」(20.3%)
- 大学・・・92.1% 「5000～1万円」(40.1%)
「1万～1.5万円」(22.0%) 「5000円以下」(21.9%)
- その他 学校・・・88.0% 「5000～1万円」(56.3%)
「5000円以下」(16.7%) 「1万～1.5万円」(13.2%)
- アルバイト・・・82.1% 「5000～1万円」(44.7%)
「5000円以下」(18.1%) 「1万～1.5万円」(15.1%)
- サラリーマン・・・84.7% 「5000～1万円」(37.3%)
「5000円以下」(35.1%) 「1万～1.5万円」(16.2%)
- OL・・・92.5% 「5000～1万円」(33.1%) 「5000円以下」(32.8%)
「1万～1.5万円」(21.7%)
- 自営業・・・95.1% 「5000～1万円」(31.8%)
「1万～1.5万円」(22.4%) 「5000円以下」(18.6%)
- 主婦・・・69.7% 「5000円以下」(41.0%)
「5000～1万円」(35.7%) 「1万～1.5万円」(10.0%)

Q.8 好きなゲーム

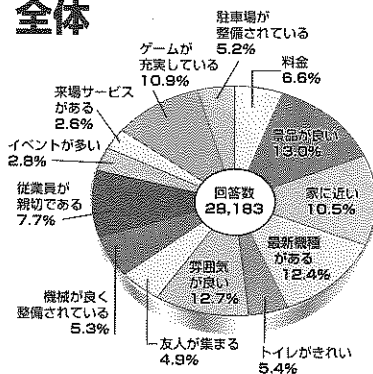


テレビゲームを選んだ方は、どのタイプのゲームが好きですか？（複数回答）

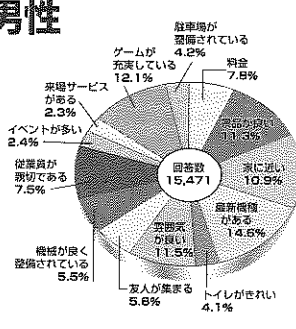
シューティングゲーム	格闘技ゲーム	スポーツゲーム	クイズゲーム	パズルゲーム	麻雀ゲーム	その他	合 計
718	1,411	968	588	1,361	828	512	6,386

Q.9 あなたの遊びにいくゲームセンターは、何を基準に選びますか？（複数回答）

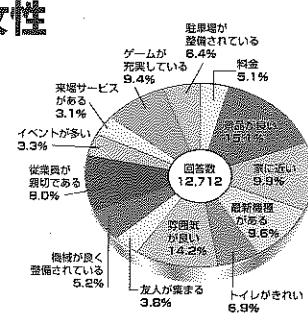
全体



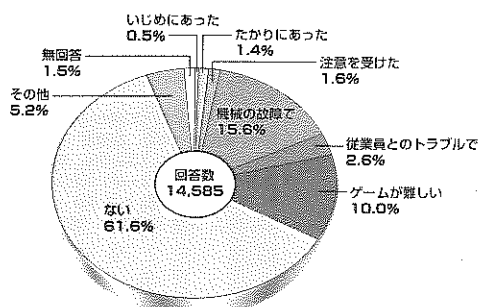
男性



女性



Q.10 最近1年間でいやな思いをしたことがありますか？



AOU関東地区協議会 店舗管理者研修会

AOU関東地区協議会(大野圭一会長)は、
2月15日(木)・16日(金)、栃木県鹿沼市の
「栃木厚生年金休暇センター」において店舗管
理者研修会を開催した。受講者は40名。

【第1日目】
13時30分からの開講式では、
関東地区協議会の大野会長、A
OU入江会長が挨拶。以下の内
容の研修に入った。
●講演 14時・15時

「8号営業に関する法解釈と注
意事項」
講師／栃木県警察本部生活安全
部生活安全企画課
「暴力団対策」
講師／栃木県警察本部刑事部捜



AOU関東地区協議会店舗管理者研修会

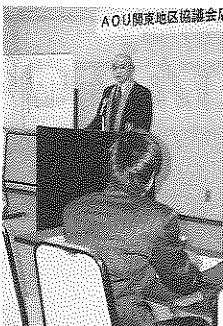
査二課
●講演 15時・16時
「道心・慈しみの心」講師／世

COLUMN 「ゲイタイ」が歪ませる若者の「コミュニケーション」

つい最近、新聞の投書欄に
興味深い記事が載っていた。
若い女性が数人の友人と食事
をしていたところ、一人の携
帯電話が鳴り、話し始めた。
すると次々に同席者の携帯に
連絡があつて、結局、その女
性以外は、皆、携帯で話すこ
とに終始していたというので
ある。
筆者にも似たような経験が
ある。仕事関係の若い女性を
昼食に誘って、その辺りのフ
ァミレスでやや遅めの食事を
とっていたのだが、彼女の携
帯に連絡があり、次の休みの
日の予定を打ち合わせしてい
た。「すみません」などと、本
人は恐縮していたとはいえ筆
者はただ黙々と食べるのみで
あった。
仕事に従事している女性で
あるから、休み時間くらいし
か友人からの電話は受けられ
ないのも事実である。だが、
と旧人類は考えてしまふ。
その女性の属している業種
は、筆者にとっても専門分野
であり、つまり筆者は経験豊
かな先輩である。聞きたい話
もたくさんあるだろうと考え
るのは、年配者の思い上がり
なのだろうか。
携帯電話というより「ケー
タイ」は、業務上、なくては
ならないツールになっている
人もいるだろう。そして、若
者にとっては、必携のコミュ
ニケーションの手段になつて
いることも事実である。その
便利さは決して否定しないが
目の前に友人、知人がいな
がら、ケータイを通じての話に
熱中するのは、どう考えても
おかしい情景である。人と人
とのコミュニケーションが歪
んでしまつてはいないのだら
うか。
新技術の導入は、我々にか
つてなかった利便性をもたら
す。だが、それが人間性を阻
害する要素にもなりうること
は、我々も心しておかなけれ
ばならないことだ。
(N)

界遺産日光山輪王寺・木暮道樹
執事長
●グループディスカッション
16時・21時(途中17時30分・19
時まで夕食・部屋へ移動)
・設定されたテーマは、「新し
い客層を生み出すために何が必
要か」「機械の有効利用」「未来
のゲーム営業のあり方とその運
営」「迷惑客への対応」「業界低
迷の原因と対策」の5つ。5名
ずつ8つにグループ分けし、各
グループごとに好きなテーマを
選び意見を出し合った。

【第2日目】
●グループディスカッション発
表 8時30分・10時
・「他業種とのハイブリット化。
例えば、八百屋で特売タイムの
待ち時間を利用したり、景品に
新鮮な野菜を提供する」「倉庫
に長期在庫している機械等は地
域の施設などに寄付したらどう
か」「季節によってスタッフの
服装を替える必要がある」「託
児所(保育士常駐)付や、全て
抗菌のゲームセンターで新しい
客層を」「お年寄り専用のブラ
イズ機の設置」など具体的意見
が数多く出された。なお、他地
区の研修会も含めグループディ
スカッションで出た意見のうち
実行できるものをまとめ、業界
誌等で発表して欲しいという声
もあった。



AOU関東地区協議会

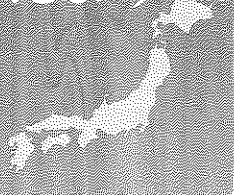
●講演 10時・11時20分
「資産社員になるために」
講師／山一ビジネス総合研究
所・山本照夫所長
●アンケート記入 11時20分
11時40分
11時40分から閉講式。修了証
書授与に続き羽生塾研修委員長
が講評を行い、昼食の後、散会
となった。

受講者(計40名)
【茨城】
後藤淳也(大野商事)／小椋英二
(田中博幸)／稲毛裕次
(武田浩司)／鎌田宏
(大島秀文)／桑智恵
(大川勉)／山本元裕
(池田隆行)／堀江一
【千葉】
三根猛(セブシ)／長尾隆重(ア
イモ)／本多祐一(セガゲームス)
【埼玉】
下野成志(マイコン機器)／大場牧夫
(小助川寺)／山崎隆一
【栃木】
太田隆之(御電屋)／佐伯将好
(高橋貴久)／佐々木好
(定政哲弘)／タカラアミ
(佐久間勉)／佐藤正史
(坂本満)／たつみ悦美
(斎藤孝明)／岩崎征一(安佐工
ス)／鈴木健嗣(セガゲームス)
【群馬】
松岡周平(安松商)／手塚
政治(アレックス)
【新潟】
黒川華月(アトラス)／福地雅之
(新井薫)／関東スポーツセン
(飯塚太郎)／江原誠幸
(宝鈴シヤ)／熊鷹彰
【新潟】
宮田権(三ヤサ)／立川正夫

AM業界の先駆者
遠藤嘉一氏永眠

AM業界の各団体(JAP
EA、JAMMA、AOU、
NSA)の前身で、昭和48年
にメーカー、オペレーターが
初の全国規模で統一した全日
本遊園協会(JAA)の初代会
長、遠藤嘉一氏(日本遊園機
械社長)が1月31日、老衰の
ため逝去した。享年102歳。
AM業界の創始者として知
られる同氏は、日本における
自動販売機の第1号(大正13
年)、自動木馬や力試し機など
のゲーム機(昭和4年)など
を考案した他、SCプレイラ
ンドの起源と言われる浅草・
松屋の「スポーツランド」を
開設(昭和6年)したことで
も名高い。また、戦後の昭和
25年、娯楽機械に物品税が
かけられることになった際
は業界のために私財を投じて
廃運動を展開、それを12年
4月にはAM業界初の受託者
として「敷五等双光旭日章」
を授与された。
なお、日本娯楽機械が所
属するNSAでは、AOUエ
キスポ初日の2月23日午後2
時3分、日本コンベンション
センター(幕張メッセ)国際
会議場303号室において
故人をしのぶ「お別れの会」
を実施。約100名が献花に
訪れた。

AM業界の先駆者
遠藤嘉一氏永眠

各地協会
だより静岡
通常総会
1月24日

静岡県アミューズメント協会(星谷清重会長)は1月24日、通常総会ならびに1月の例会を開催した(役員会午後3時30分、総会4時、4時40分、例会4時45分、6時、懇親会6時30分、8時30分)。伊豆長岡温泉「いづみ荘」、出席18社+委任状13社。

総会での主な審議内容は次の通り。
 ◎平成12年度事業報告ならびに収支決算報告 監査報告(承認)
 ◎平成13年度事業計画案(承認)
 ◎平成13年度終始予算案(前期の繰越残高が増加したことあり、年々例会への参加者が減少していることへの対策として例会参加費を値下げし、不足分は繰越金を充当することとした。具体的には懇親会1万5000円、70000円、宿泊2万円、1万20000円)
 また、1月の例会の内容は次の通り。

鹿児島
新年の総会および研修会
1月26日

鹿児島県アミューズメント施設営業者協会(黒島勝行会長)は1月26日、新年の総会を開催した(午後4時、5時10分、鹿児島市「ステーションホテルニューカゴゴマ」、出席9社12名)。主な内容は次の通り。

◎KAO活動報告
 ◎AOU全国大会報告
 ◎九州・沖縄地区協議会報告(1月16日開催)
 ◎第4回店舗管理者研修会について(福岡で3月14・15日)
 ◎地域懇談会について(今年度は大分県で開催)

◎AOUEキスポについて
 ◎模範優良店表彰について
 ◎レジャーポイントの法規制について

総会終了後、県警本部・生活安全企画課の坂元幸久警部補を講師に招き、「8号営業の注意」などに関する研修会を実施。続いて、新年の懇親会を行った。

◎総会
 2月8日
 神奈川県アミューズメント施設営業者協会(村山嘉男会長)は2月8日、平成12年度総会を

開催した(午後4時30分、ホテルニューアカオ、出席11名+委任状10名)。主な内容は次の通り。

◎平成12年度事業報告ならびに会計報告(承認)
 ◎平成13年度予算案ならびに事業計画案(承認)
 ◎新会員の紹介(朝ハローズ、佛焼津ミッツ)
 ◎AOU東海地区協議会・店舗管理者研修会について(3月22日、横浜国際ホテルにおいて開催)

◎その他(会員増強の件、「ゲームの日」の充実および拡張化の件)
 午後6時30分より懇親会を実施。

兵庫
理事会
2月14日

兵庫県アミューズメント施設営業者協会(手塚明雄会長)は2月14日、第2回理事会を開催(午後3時、5時、センタープラザ西館6階・第9会議室、出席11名)。3月7日に開催予定の第17期定時総会に、その準備作業、資料の承認とチェック、当日の進行についてなどを討議した。

なお、議事に入る前に藤セガ・アミューズメント関西の林氏から申し出があり、同氏転勤で後任となる甲田氏への理事の変更が承認され、紹介された。次回理事会は総会当日午後1時より実施。

開催した(午後4時30分、ホテルニューアカオ、出席11名+委任状10名)。主な内容は次の通り。

◎平成12年度事業報告ならびに会計報告(承認)
 ◎平成13年度予算案ならびに事業計画案(承認)
 ◎新会員の紹介(朝ハローズ、佛焼津ミッツ)
 ◎AOU東海地区協議会・店舗管理者研修会について(3月22日、横浜国際ホテルにおいて開催)

◎その他(会員増強の件、「ゲームの日」の充実および拡張化の件)
 午後6時30分より懇親会を実施。

by **MAX**

アミューズ
エクスプロ
開催されまじた。

今年も
大盛況です。

あちこちで
ボクの姿も
あちこちで
お出迎え

これからも
がんばりますので
よろしくネ。

TAITO®

これが業界初!
カースタントゲーム

プレイヤーはカースタントドライバー!
映画監督のシビアな要求に立ち向かえ!

STREET
TOPHOOON

21st CENTURY
NEW
MODEL

株式会社タイトー 東京 Tel/046-235-9510 Fax/046-235-5649 名古屋 Tel/052-702-3322 Fax/052-702-3321
 GM事業本部 神奈川県海老名市下今泉3-11-1 札幌 Tel/011-824-4665 Fax/046-235-5649 大阪 Tel/06-6905-4553 Fax/06-6905-3049 福岡 Tel/092-623-1245 Fax/092-623-9035